

除之地之處、動有其煩云々。不可然。早任去月十六日御判旨、可被停止使者入部之由、所被仰下也。仍執達如件。

永享六年五月十二日

(細川持之)  
右京大夫 在判

(教家)  
富樫刑部大輔殿

永享七年

乙卯

紀元二〇九五

五月十六日。足利義教、山城寶幢寺に、同寺領加賀郡倉月莊松寺村東西・赤濱村を安堵せしむ。

【鹿王院文書】 山城

八三四

此所々爲兩寺領、任當知行之旨、領掌不可有相違之狀如件。

永享七年五月十六日

(足利義教)  
左大臣源朝臣 在判

寶幢寺領

加賀國倉月庄内松寺東西・赤濱村

(中略)

鹿王院領

越中國井見庄領家職

(中略)

永享七年三月 日

七月十三日。右衛門少尉宗有、領家の命により、珠洲郡本光寺に同寺領若山莊西海浦恒利名の下地を安堵せしむ。

【本光寺文書】 珠洲郡

八三五

袖判

寄進

馬繫本光寺

能登國若山庄西海浦内恒利名半分本田事

合肆段五半者

右下地、限永代年貢諸公事等、任代々御下知之旨、不可有相違知行之由所候也。仍執達如件。

永享七年七月十三日

右衛門少尉宗有

十月十一日。惠源、常願に、山城臨川寺領加賀

郡大野莊示野村一王丸名の名主職を賣渡す。

【天龍寺文書】 山城

八三六

永代賣渡大野庄示野村内一王丸名主職事

合壹名者 拜付別紙在之

右名者、惠源當知行無相違地也。但得分陸解、斗者船斗定。雖然依有要用、代錢陸拾貫文仁證文不殘一通相副候て、永代賣渡申處實也。仍彼名之所役御年貢・御公事等、任先例可被勤仕也。若又弟子親類違亂煩申て出來ハ、爲公方沙汰堅可行罪科者也。仍爲後日賣券狀如件。

鶴藏坊

永享柒年乙卯十月十一日

惠源 在判

【天龍寺文書】

八三七

秘計申大野庄示野村一王丸名主職事

合壹名者

右彼名田に違亂煩出來候とて、口入申候上ハ相懸申べく候。代錢之事ハ本文書ニ在之。本より此下地之事ハ、愚

身之預申て候事にて候間、公方之御年貢・御公事等ハ、如先例可致其沙汰候。又名主之御徳分ハ、毎年名主斗定六石宛、無懈怠可致其沙汰候。若未進難澁候ハ、堅可有御成敗候。於此上ては一粒にても候へ、不可有其煩候。仍爲後日證文之狀如件。

永享七年乙卯十月十三日

預主示野村住人常願 在判

十二月廿六日。足利義教、狩野家澄に、江沼郡福田莊菅浪郷地頭・公文兩職及び菅生社社主職を安堵せしむ。

【狩野文書】

八三八

(足利義教)  
御判

加賀國福田庄内菅浪郷地頭・公文兩職、並菅生社社主職事、狩野加賀守家澄當知行云々、領掌不可有相違之狀如件。

永享七年十二月廿六日

(狩野家澄は、應永十五年十月十九日の條に見えた